

全世帯を対象に

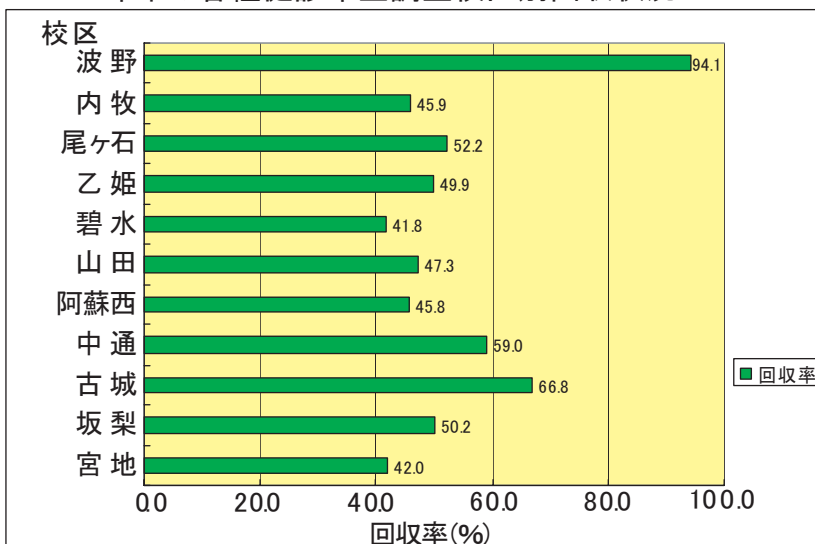
平成19年度

各種健診希望調査

を実施します。



昨年の各種健診希望調査校区別回収状況



※この調査は全世帯に回答いただくものですが、右表のとおり前年は回収率がよくありませんでした。皆さまの健康管理に必要な調査ですので、ご理解の上ご協力いただきますようお願いいたします。

平成19年度の住民健診希望調査を今月実施いたします。この調査は、より正確な受診希望者を把握するため全世帯を対象に実施するものです。調査票は郵送で配布いたしますので、ご記入の上、2月26日までに返送いただくか、阿蘇市一の宮保健センター、内牧支所に提出してください(波野地区は健康づくり推進員に提出)。
なお、住民健診を希望された方に、今後の健診の通知や健診セットを各世帯ごとに配布します。
詳しいお問い合わせ先は、一の宮保健センター(TEL 22-5088)まで。

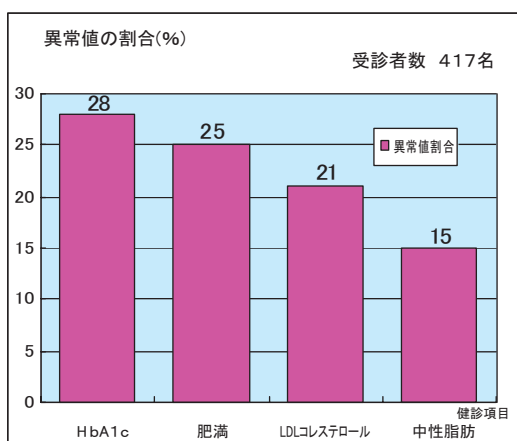
※住民健診を受ける受けないにかかわらず、全世帯の提出をお願い致します。

■平成18年度の住民健診の結果を報告します。

住民健診は、病気の早期発見、早期治療にかかすことのできない大切な健診です。年に1度は、健診を受診し全身の健康状態を知ることが必要です。平成18年の4月か

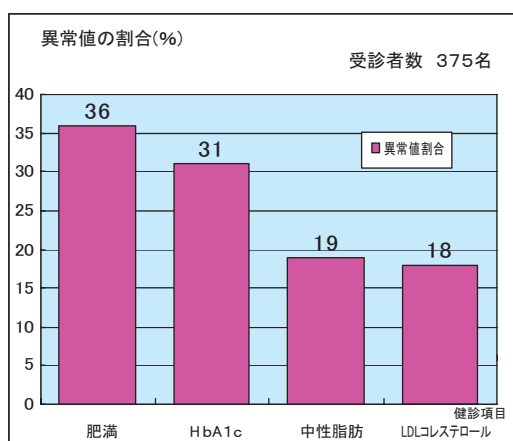
■各年代別の健康状況を見よう

40才代の健康状態



※HbA1C(日常の平均血糖値の検査)

39才以下の健康状態

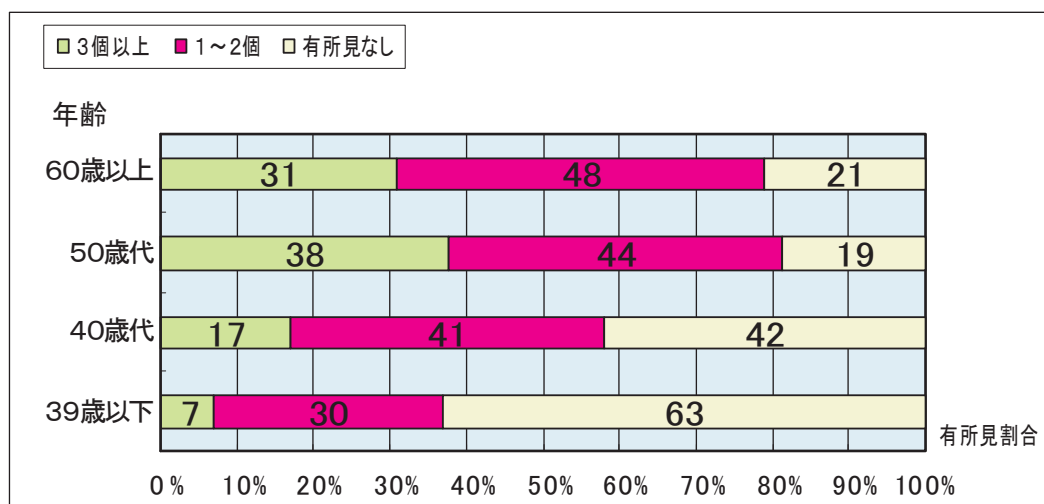


※LDL コレステロール(別名：悪玉コレステロール)

年代別結果の特徴として、39才以下では、肥満の割合が36%、60才以上になると高血圧が34%と高くなっています。また、各年代に共通して高い項目として血糖値の高い方(HbA1c)が、1、2位を占めています。



年齢別生活改善の必要な健診項目個数



左記のグラフは基本健診における、生活改善が必要な健診項目の個数をあらわしたものです。生活習慣病の原因となる項目である肥満・肝臓機能低下・血糖・高脂血症・血圧を年代別にあらわしています。高齢になるにつれて項目が増えていますが、39歳以下でも37%の人が生活習慣の改善が必要な結果となっています。

く阿蘇市では予防活動に重点をおき
次の事業を実施しています

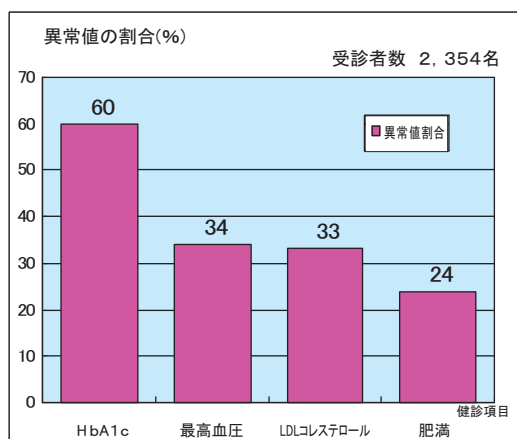
- ★健康教室 水中運動教室、インスリンを守る教室、血管ノビノビ教室、生涯健康栄養教室など
- ★健康相談 一の宮保健センター(随時)、内牧支所(毎週金曜日)、波野保健福祉センター(毎週水曜日)
- ★家庭訪問 糖尿病・メタボリック症候群等の予備軍が多いことから、優先度を考慮しながら、保健師・看護師・栄養士が家庭訪問を行っています。(必ず電話連絡後訪問しています。)



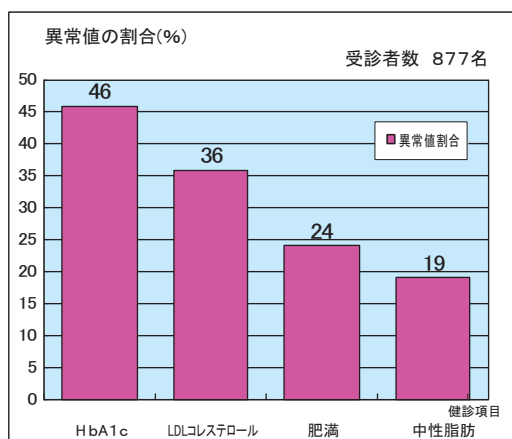
ら9月の期間、住民健診を実施しました。その結果、基本健診の受診者数は4023名で、平成17年度の受診者数(3937名)よりわずかではありますが増加しており、みなさんの健康に対する意識が高くなっています。

※阿蘇市では、住民健診にかかる一部費用の助成を行っています。

60才以上の健康状態



50才代の健康状態



ます。生活習慣病の温床となる肥満、それに糖尿病・高脂血症・高血圧症の項目を2つ以上あわせもつメタボリック症候群になりますと、生命に重要な血管が動脈硬化をおこし、心筋梗塞・脳梗塞等を発症しやすい状態となります。

《若い年代からの早期の生活改善による予防が大切です。》

★★ 阿蘇市の若い世代は肥満が多い！
★★ 糖尿病予備軍が多い！